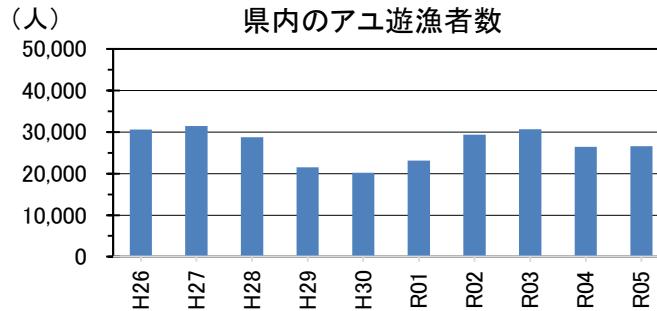


多様な河川利用

- 九頭竜川はアユをはじめとした釣りでの利用のほか水面を利用したカヌー等、高水敷でのマレットゴルフ、堤防でのサイクリングなど多様な形で利用されています。
- 鳴鹿大堰で取水した水は、かんがい用水として福井平野・坂井平野(福井市、あわら市、坂井市、永平寺町の三市一町)の農地の約65%に供給しているほか水道用水として福井市の約40%を供給しています。

人と河川との豊かな触れ合いの場

九頭竜川ではアユやサクラマスなど季節を通じて釣りが盛んにおこなわれています。



出典：資源管理の状況等の報告（福井県）

※入り込み客数については、日券の販売枚数1枚を入り込み客数(人)として算出。

年券については、年券の販売枚数1枚につき（年券の設定金額/日券の設定金額）を入り込み客数(人)として算出。



アユ釣り(九頭竜川上流区間)

九頭竜川の市街地周辺の高水敷では公園が整備され、サイクリングや散策の他、「カヌー大会」、「永平寺大燈籠ながし」等のイベントも数多く行われている。また、九頭竜川の自転車利用環境を活用し、サイクリングイベント「ドラゴンリバーライド2019」が開催されています。



マットゴルフ(松岡河川公園)



SUP体験(鳴鹿大堰上流区間)



サイクリング(河川堤防天端)



ドラゴンリバーライド(参加募集チラシ)



カヌー大会(九頭竜川下流区間)



灯籠流し(鳴鹿大堰上流)

鳴鹿大堰による河川水の利用（灌漑用水）

